



# 学びの庭

## 学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、  
児童一人一人のよさと可能性を伸ばす。

〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町491番地 電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451 E-mail: tamamoro-e@kofu-ymn.ed.jp

創立 明治5年  
1872年

令和5年(2023年)5月1日

発行責任者 校長 山本英寿

## 新緑の若葉のように



校庭の木々や街路樹が目には鮮やかな新緑に包まれ、風薫る季節となりました。若々しい葉は、ぐんぐん成長している玉諸小の子どもたちのようです。

さて、新年度が始まって1か月が過ぎ、学習や当番活動などの学校生活も軌道に乗ってきました。新しい友達と校庭で仲よく遊ぶ姿も見られます。最初は緊張していた1年生もすっかり学校生活に慣れてきたようです。教室からは元気な返事や明るい声が聞こえてきます。

朝の集団登校での、班長さんをはじめ上級生が1年生を気遣いながら歩いてくる姿には感心させられます。下級生の子どもたちにとって、こうした優しいお兄さんやお姉さんに出会えたことは、とても幸せなことです。そして、今は下級生の子どもたちも、大きくなったら頼りになる上級生になってくれることと思います。上級生から下級生へと受け継がれていく玉諸小のよさを大切にしていきたいと思います。



## コミュニティ・スクールがスタート!

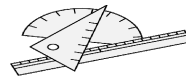


【第1回学校運営協議会】

令和5年度より、コミュニティ・スクールが導入され、4月27日(木)に第1回学校運営協議会(会長:渡邊康雄玉諸地区自治会連合会会長)が開催されました。この学校運営協議会は、保護者や地域の皆さんが一定の権限と責任をもって学校運営について参画する仕組みです。学校運営協議会で決めた方針を実施主体となるボランティア(保護者や地域住民・団体等)に伝え、さまざまな取組を実施していきます。今回は、玉諸小学校運営協議会の目標、運営方針、活動内容・組織、年間活動計画について協議しました。また、令和5年度学校経営方針についても承認されました。地域の「ひと・もの・こと」を積極的に教育活動に取り入れ、学校・地域・家庭が一体となって子供たちの「生きる力」を育む学校づくりを推進していきます。

※コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことをいいます。

## 全国学力・学習状況調査に 取り組みました



4月18日(火)に、6年生が全国学力・学習状況調査に臨みました。今年度の調査は、国語と算数です。これまで別々だった知識に関する問題と活用に関する問題が、今年度もまとめて問われる形式になり、活用力がより重視されています。また、児童質問紙による調査も行われる予定です。普段、実施している单元ごとのテストとは異なり、20ページにも及ぶテストを行うことは、子どもたちにとってなかなか大変なことです。みんな真剣に問題に向き合っていました。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や児童生徒の生活状況の実態等を明らかにすることにより、各学校における児童生徒への指導内容の充実や指導方法の改善、日々の生徒指導等に役立てることなどを目的としています。今後、調査結果を詳細に分析し、よりよい学習指導、生活指導につなげていきたいと考えています。



【真剣に問題に取り組む6年生】

# 学校と家庭がスクラム組んで！

## 授業参観ありがとうございました

4月21日（金）、24日（月）の授業参観には、多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。今年度初めての授業参観では、進級した学年で一回り成長した子供たちが張り切って、また、真剣に学習に取り



【1年生！はじめての授業参観】

### 有意義な個別懇談に

4月27日から5月2日までの4日間にわたって実施している個別懇談には、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。個別懇談を通じて、保護者の皆様と直接、子どもたちについて話したり、保護者の皆様の思いや考えを直にお聞きしたりすることは、教育活動にとっても役立ちます。今後も、学校と家庭との連携を密にしながら指導にあたっていきたいと考えています。

組む姿をご覧いただけたことと思います。そして、学年PTA総会、専門部会では、今年度の活動の見直しをもつことができました。本当にありがとうございました。

今後も、熱意・誠意・創意をもって「一人一人が輝く学校」をめざし、全力で教育活動の充実に向けて取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。



玉諸小ブログ2023や学校  
だよりのHP版をご覧  
いただけます。



## 玉諸小学校の校歌の由来

一 夢の国かとまごうほど  
広いすがしい玉諸の  
柳さくらとつどいたる  
学びのにわのゆかしさよ

二 ながめ雪山遠けれど  
朝は朝風 夕日かげ  
まもる力もうるわしの  
野にはれんげの花ざかり

三 春秋ここにいくめぐり  
やしろのゆかりとおくとも  
新産業にうち向う  
六年をほまれわが母校

玉諸小学校 校歌

作詞 向井房恵  
作曲 坂口五郎

本校の校歌が制定されたのは、昭和39年（1964年）10月7日、今から59年前のことです。校歌には、この地域の自然や歴史を織り込み、子どもたちに明るく元気に育ってほしいという願いが込められています。

玉諸小学校百周年記念誌「玉諸小学白寿史」には、次のように書かれています。

「柳の新緑、開き始めた桜のつぼみ、校舎の周りは見渡す限り一面のレンゲ畑。昭和39年の春、新校舎の屋上へ上られた向井房恵先生はあまりの美しさに「夢の国ふさはるのようだ。」と感嘆されたという。それから、玉諸神社をはじめ土地の様子をいろいろ調べられ、明るく力強い校歌を作詞してくださった。なお、それ以前には校歌はなかった。」

校歌作詞者の向井房恵さん（1889-1975）は、北巨摩郡熱見村（現在の北杜市高根町）出身。谷村工商校長、甲府市助役、第1回公選山梨県教育委員長などを歴任、県教育功労者。玉諸小校歌のほか、里垣小、国母小、貢川小、東小、明見小、秋山中、ろう学校などの多くの校歌や山梨青年団歌などを作詞しました。

校歌作曲者の坂口五郎さん（1901-1975）は、長野県長野市出身。山梨大学教授、同大学名誉教授、帝京短期大学教授などを歴任、県政功績者。玉諸小校歌をはじめ、里垣小、国母小、明見小、谷村第二小、敷島中、双葉中、峡南高校、山梨学院大学などの多くの校歌のほか、山梨県の体育祭りの歌、山梨観光音頭、山梨遊覧小唄などを作曲しました。



